

## 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	市野ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	ハピネス 5
<b>タイトル</b>	お金は人より多く持つことで幸せを生むのか？		
<b>テーマ群</b>	g)その他		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>「幸せになりたい」これは、誰しも一度は考えたことがあるはずである。めまぐるしく情勢が変わる現代の世の中で一体、どうすれば幸せになれるのだろうか。そもそも幸せとは一体なんなのか。という疑問から私たちの研究は始まる。</p> <p>まず、私たちは手あたり次第、幸せについて書かれている書籍・論文を読んだ。そこには、幸せの定義とは、「個人により変わるものである。」と記されていた。その中で一つとても気を引かれた研究がある。それは、このようなものだ。「自分は二つの人生を選択できるとする。Aの人生では、年間の所得は500万円、周りの人の年間の所得は250万円とする。それに対して、Bの人生では、年間の所得は1000万円あるが、周りの人の年間の所得は2000万円である。このA・Bどちらかの人生を選択するとき、どちらの人生を選択しますか？」と尋ねると、ほとんどの人が自分個人の所得が大きいBの人生を選択せずにAの人生を選択したのである。</p> <p>この結果からわかることは、人は、自分の所得が上がったとしても周りと比較して下になるのであれば、周りより上にいることを選ぶのである。つまり、人は、周りより優秀であることを自分の幸せと感じるのである。では、果たして所得以外のもの。例えば、恋愛や友人関係、生活環境などであっても、人は周りより優れている事を幸せと判断するのか。そして、人より優れる事が幸せなのかを考える。</p> <p>具体的にこの研究をどう進めるかであるが、①論文・書籍などから先行研究を見つける。②①を参考にし、今を生きる若者にアンケート調査をすることを考えている。アンケートにより所得以外の事であっても、人は同じように周りに幸せを左右されるのかを見極めそして、今を生きる若者は一体なにを基準に幸せを感じているのかを調べる。</p>		